

カワセミが殿山の池に やってきました。

最近、この小さな池に「カワセミ」が姿を見せるようになりました。

カワセミは漢字で書くと「翡翠」。その名の通り「飛ぶ宝石」と呼ばれることもあります。

また町田市の市の鳥としても有名ですね。

一時は川の水質の悪化とともに、かなり数を減らしていましたが、住民の環境意識の高まりもあり、今では多くの場所で目撃されるようになりました。

この殿山の池は、湧水を源流にしているため、水質もよく、また巣穴をほるのに適した斜面もあることから定着してくれるかもしれません。

しかし、パン屑の投げ込みなどによる水質悪化や鴨の飛来により、水が濁るなどして環境が悪化すると、カワセミはまた別の水辺に飛んでいくと思われれます。

カワセミも住める池「そんな環境を維持するには、皆様の協力が不可欠です。ぜひよろしくお願ひします！」



今月のいきもの活動！

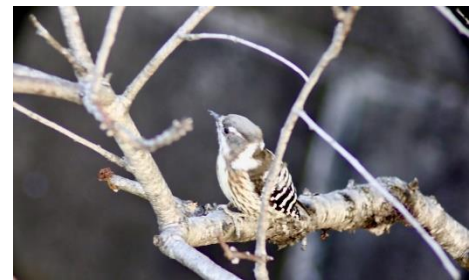
アズマヒキガエルの産卵が そろそろ始まります！

例年は2月末から3月に観察されます



毎年、殿山の池のオタマジャクシを楽しみにしている方も多いのではないかと思います。今年も、アズマヒキガエルの産卵の時期が近づいています。去年は、パン屑を目的に飛来した鴨とザリガニによって、ほぼ全滅してしまいましたが、今年こそは生き残ってほしいと思っています。皆さんも見守りお願いします！
※カエルの卵はそのままに。お子さんがオタマジャクシを持ち帰られた場合、家でカエルになったらぜひ池に戻してあげてください。カエルの飼育には生餌が必要で大変。

殿山の「いきもの」 ピックアップ！



コゲラ(キツキ目キツキ科)
日本最小のキツキ

池のザリガニについて

全国の池や湿地帯の生き物を根こそぎにしている外来種のアメリカザリガニですが、その生態系への深刻な影響を考慮し、その規制に向けて法整備が進んでいます。この池も、昔はドジョウやヤゴ、また数多くの水生の昆虫がいました。今ではそれもほぼ絶滅し、ザリガニしかいない池になってしまいました。将来の世代に、いい環境を残すためにも、ご協力のほどよろしくお願ひします。